

## 男女共同参画・ダイバーシティ推進の進捗状況に関する大学・研究機関向けアンケート

日本学術会議事務局

### 回答者へのメッセージ

2019年2月15日  
日本学術会議科学者委員会男女共同参画分科会

#### 「回答上の注意」

- ・送付資料中の「アンケート実施要項」をご参照いただき、2019年3月15日（金）までにご回答ください。
- ・設問が多いため、あらかじめ送付資料のアンケート書面で回答をご準備いただき、ご入力ください。
- ・本アンケートにおける用語は、以下を意味します。
  - 教職員（教員・研究員・事務系職員とする。常勤・非常勤の別を問わない。任期付きか否かを問わない。）
  - 教員（教授・准教授・専任講師・助教・特任助教・助手・非常勤講師などで教育・研究に従事している者とする。）
  - 職員（常勤・非常勤を含む事務系職員とする。）
  - 研究者（教員・研究員・オーバードクター・博士課程院生など研究に従事している者とする。）
  - 若手（おおむね39歳以下の者とする。）
  - 学生（学部生・大学院生・社会人大学院生とする。必要に応じて、研究生・科目等履修生等を含んでも良い。）
- ・入力に関するお問い合わせ先：  
日本学術会議事務局 三武（みたけ）  
電話：03-3403-1081

必要事項を記入後、[次へ]ボタンをクリックしてください。

- ▶ 文字化けを防ぐため、半角カタカナ、丸数字、特殊文字は使用しないでください。  
使用された場合、一部特殊文字は規則に従い、自動的に置き換えて受信を行います。  
あらかじめ御了承ください。（詳細は「[置き換え規則について](#)」を御覧ください。）

1. 内容入力

2. 確認

3. 完了

### 基本情報（必ずご記入ください）

#### 1) 大学名

大学・研究機関名 ※必須	<input type="text"/>	残り文字数10000
所在地 ※必須	<input type="text"/>	残り文字数10000
ウェブサイトURL ※必須	<input type="text"/>	残り文字数10000

#### 2) 回答の全体的とりまとめ担当者

担当部署 ※必須	<input type="text"/>	残り文字数10000
担当者役職名 ※必須	<input type="text"/>	残り文字数10000

担当者氏名

※必須

残り文字数10000

TEL

※必須

残り文字数10000

Eメールアドレス

※必須

残り文字数10000



入力内容を  
パソコンに保存する

次へ>

※「入力内容をパソコンに保存する」は、スマートフォン端末、タブレット端末ではご利用頂けません。

[このページの先頭へ](#)



内閣府

〒100-8914 東京都千代田区永田町1-6-1

電話番号 03-5253-2111 (大代表)

内閣府法人番号 2000012010019

© Cabinet Office, Government of Japan

## 男女共同参画・ダイバーシティ推進の進捗状況に関する大学・研究機関向けアンケート

日本学術会議事務局

### 回答者へのメッセージ

2019年2月15日  
日本学術会議科学者委員会男女共同参画分科会

#### 「回答上の注意」

- ・送付資料中の「アンケート実施要項」をご参照いただき、2019年3月15日（金）までにご回答ください。
- ・設問が多いため、あらかじめ送付資料のアンケート書面で回答をご準備いただき、ご入力ください。
- ・本アンケートにおける用語は、以下を意味します。
  - 教職員（教員・研究員・事務系職員とする。常勤・非常勤の別を問わない。任期付きか否かを問わない。）
  - 教員（教授・准教授・専任講師・助教・特任助教・助手・非常勤講師などで教育・研究に従事している者とする。）
  - 職員（常勤・非常勤を含む事務系職員とする。）
  - 研究者（教員・研究員・オーバードクター・博士課程院生など研究に従事している者とする。）
  - 若手（おおむね39歳以下の者とする。）
  - 学生（学部生・大学院生・社会人大学院生とする。必要に応じて、研究生・科目等履修生等を含んでも良い。）
- ・入力に関するお問い合わせ先：  
日本学術会議事務局 三武（みたけ）  
電話：03-3403-1081

必要事項を記入後、[次へ]ボタンをクリックしてください。  
[修正]ボタンをクリックした場合、本ページで記入頂いた内容が消える場合があります。

- ▶ 文字化けを防ぐため、半角カタカナ、丸数字、特殊文字は使用しないでください。  
使用された場合、一部特殊文字は規則に従い、自動的に置き換えて受信を行います。  
あらかじめ御了承ください。（詳細は「[置き換え規則について](#)」を御覧ください。）

1. 内容入力

2. 確認

3. 完了

### 第二部アンケート（実態調査（男女共同参画・ダイバーシティ推進取組の実態調査）：選択肢回答）

#### 1 男女共同参画の推進状況（全般）【（1）～（4）】

##### （1）【全体方針】

貴大学・貴法人は、「男女共同参画の推進」を重要な方針として位置づけていますか？

はい →（1）-A、（1）-C、（1）-Dへ  いいえ →（1）-B、（1）-C、（1）-Dへ

##### （1）-A 具体的施策について当てはまるものを選択してください。※複数選択可

- 「男女共同参画の推進」を大学・法人の方針としてホームページなどで公表している。
- 男女共同参画室など責任ある組織を作っている。
- 男女共同参画推進を掲げたシンポジウムやセミナー等を開催している。
- 学内・法人内に男女共同参画推進のための研究組織（ジェンダー研究センター等）を設置している。
- 他大学・他法人や地域企業・団体等と連携して男女共同参画推進の取組を行っている。
- 学生向けに、男女共同参画関連科目（女性学・ジェンダー学など）を開講している。
- 学生向けに、女性リーダー育成のためのカリキュラム・授業がある。

「無意識の偏見（アンコンシャス・バイアス）」（性別役割分担意識など）について気づかせるための教職員研修あるいは授業を実施している。

図書館・資料室等でジェンダー関連図書の収集や展示等を行っている。  その他

上記で「その他」を選ばれた場合、代表的なものを1つだけご記入ください。

残り文字数10000

(1) -B 下記から、「いいえ」の最大の理由を1つだけ選択してください。

男女共同参画はすでに達成済みであるため、重要方針として掲げていない。

今後、男女共同参画の推進を重要方針として取り組む予定である。

男女共同参画の推進を重要方針に掲げるには、人的・予算的資源が不足している。

男女共同参画は他の重要課題より優先度が低いと考えている。  その他

上記で「その他」を選ばれた場合、代表的なものを1つだけご記入ください。

残り文字数10000

(1) -C 貴大学・貴法人の長（総長・学長・法人長・理事長等）に女性が就任したことはありますか？  
就任したことがあれば、人数（何名中何名か）と就任期間を記載してください。

はい  いいえ

過去の女性就任者数・比率について、職種別に記載してください。  
(例) 学長10名中1名(2015年から現在)

残り文字数10000

(1) -D 2017～2018年度に学内（法人内）で実施した男女共同参画推進に関する研修会・講演会・関連授業（女性学・ジェンダー研究関連授業）があれば、ご記入ください。

研修会・講演会\*（ホームページで公表している場合にはURLもご記入ください）  
\*明確に男女共同参画（ジェンダー平等・女性活躍推進等）をテーマにするものに限ります。

残り文字数10000

女性学・ジェンダー研究関連授業\*\*（シラバスをホームページ上で公表している場合にはURLもご記入ください）  
\*\*科目名に関わらず、授業内容に男女共同参画の視点が含まれているかどうかによりご判断ください。

残り文字数10000

## (2) 【メンタルサポート】

貴大学・貴法人は、女性研究者が研究の継続に関する不安や悩みを相談できるようなメンタル・サポート体制を整備していますか？

はい → (2) -Aへ  いいえ → (2) -Bへ

(2) -A 具体的施策について当てはまるものを選択してください。※複数選択可

出産・育児の経験後も働き続けるキャリアイメージの形成を支援するための研修を行っている。

女性研究者に対するメンター制度を導入している。

女性研究者がキャリアプランや育児、介護などの相談ができる総合相談窓口を設置している。

女性研究者等が問題点を共有するために公式にメーリングリスト等を構築し、活用している。

メンタル・サポート体制は男女を問わずすべての研究者が利用できるものとしている。  その他

上記で「その他」を選ばれた場合、代表的なものを1つだけご記入ください。

		残り文字数10000
--	--	------------

(2) -B 下記から、「いいえ」の最大の理由を1つだけ選択してください。

	<input type="radio"/> 女性研究者に対するサポート体制を組むに足る人員や予算がない。 <input type="radio"/> 女性研究者からのニーズがない。 <input type="radio"/> 女性研究者のみに特別なサポート体制を組むことには批判や抵抗が強い。 <input type="radio"/> その他	
--	---	--

上記で「その他」を選ばれた場合、代表的なものを1つだけご記入ください。		残り文字数10000
-------------------------------------	--	------------

### (3) 【パートナー関係】

貴大学・貴法人は、パートナーのいる研究者（法律婚及び法律婚以外のパートナーを含む）に関して、研究上の支障が出ないような配慮をしていますか？

	<input type="radio"/> はい → (3) -Aへ <input type="radio"/> いいえ → (3) -Bへ	
--	--	--

(3) -A 具体的施策について当てはまるものを選択してください。※複数選択可

	<input type="checkbox"/> 事実婚のパートナーを配偶者と同様に処遇している。 <input type="checkbox"/> 同性パートナーを配偶者と同様に処遇している。 <input type="checkbox"/> 同性婚や同性パートナーシップの法的証明がある外国人研究者に対してのみ、同性パートナーを配偶者と同様に処遇している。 <input type="checkbox"/> 外国人研究者に対してのみ、事実婚のパートナーを配偶者と同様に処遇している。 <input type="checkbox"/> 本人が望むすべての場面で通称名使用を認めている。 <input type="checkbox"/> 本人が望む一部の場面で通称名使用を認めている。 <input type="checkbox"/> 夫婦帯同制度（夫婦が同一大学あるいは近隣地域で就業できるように配慮する制度）を導入している。 <input type="checkbox"/> その他	
--	--	--

上記で「その他」を選ばれた場合、代表的なものを1つだけご記入ください。		残り文字数10000
-------------------------------------	--	------------

(3) -B 下記から、「いいえ」の最大の理由を1つだけ選択してください。

	<input type="radio"/> パートナー関係が研究上の支障をきたした前例がない。 <input type="radio"/> 必要性を感じない。 <input type="radio"/> ニーズがない。 <input type="radio"/> 特別な配慮をすると混乱が生じる。 <input type="radio"/> その他	
--	---	--

上記で「その他」を選ばれた場合、代表的なものを1つだけご記入ください。		残り文字数10000
-------------------------------------	--	------------

### (4) 【女性活躍推進法】

貴大学・貴法人は、女性活躍推進法にもとづく「一般事業主行動計画」を策定していますか？

	<input type="radio"/> はい → (4) -A、(4) -B、(4) -C、(4) -Dへ <input type="radio"/> いいえ → (4) -Eへ	
--	---	--

(4) -A 「一般事業主行動計画」の内部周知・外部への公表方法を下記から選択してください。※複数選択可

	<input type="checkbox"/> 学内・法人内の見やすい場所への掲示 <input type="checkbox"/> 全教職員に対する電子メールでの送付 <input type="checkbox"/> イン트라ネット（事業所内ネットワーク）への掲載 <input type="checkbox"/> 書面（冊子・チラシ等）での配布 <input type="checkbox"/> ホームページへの掲載 <input type="checkbox"/> 厚生労働省が運営する「女性の活躍推進企業データベース」への掲載 <input type="checkbox"/> 策定しているが、公表はしていない	
--	---	--

(4) -B 「一般事業主行動計画」における数値目標につき、教育・研究職（教員・研究員）について目標設定をしている項目に目標数字を入力してください。

目標を設定していない項目は「0（ゼロ）」を記入してください。

### 管理職に占める女性の割合

「管理職」とは、以下の者を指します。事務局長級（理事を兼ねる者を除く。）、副学長（理事又は事務局長を兼ねる者を除く。）、部長級（学長補佐を含む）、課長級、室長、副学長（理事又は事務局長を兼ねる者を除く。）、学長補佐、学部長（教養部長、学群長等を含む）、研究科長（修士課程長等を含む）、病院長、附属学校長、所長（センター長含む）、館長、船長、薬剤部長、看護部長、副看護部長に相当する職のうち、国立大学が法人化する前の人事院規則9-17（俸給の特別調整額）における四種以上に相当する手当が支給される職。

目標値 (設定している場合には 目標値%を記入)	<input type="text"/> % 残り文字数10
現状値% (2018.5.1現在)	<input type="text"/> % 残り文字数10

### 教員・研究員に占める女性の割合

目標値 (設定している場合には 目標値%を記入)	<input type="text"/> % 残り文字数10
現状値% (2018.5.1現在)	<input type="text"/> % 残り文字数10

### 教員・研究員の採用における女性の割合（2017年度）

目標値 (設定している場合には 目標値%を記入)	<input type="text"/> % 残り文字数10
現状値% (2018.5.1現在)	<input type="text"/> % 残り文字数10

### その他（数値目標を設定している項目があれば記載してください）

項目名	<input type="text"/> 残り文字数1000
目標値 (設定している場合には 目標値%を記入)	<input type="text"/> % 残り文字数10
現状値% (2018.5.1現在)	<input type="text"/> % 残り文字数10

(4) - C 「一般事業主行動計画」において公表が義務付けられている4項目につき、事務系職員について目標設定をしている項目に目標数字を入力してください。

目標を設定していない項目は「0（ゼロ）」を記入してください。

### 事務系管理職に占める女性の割合

「管理職」とは、以下の者を指します。事務局長級（理事を兼ねる者を除く。）、副学長（理事又は事務局長を兼ねる者を除く。）、部長級（学長補佐を含む）、課長級、室長、副学長（理事又は事務局長を兼ねる者を除く。）、学長補佐、学部長（教養部長、学群長等を含む）、研究科長（修士課程長等を含む）、病院長、附属学校長、所長（センター長含む）、館長、船長、薬剤部長、看護部長、副看護部長に相当する職のうち、国立大学が法人化する前の人事院規則9-17（俸給の特別調整額）における四種以上に相当する手当が支給される職。

目標値 (設定している場合には 目標値%を記入)	<input type="text"/> % 残り文字数10
現状値% (2018.5.1現在)	<input type="text"/> % 残り文字数10

### 事務系職員の採用における女性の割合（2017年度）

目標値 (設定している場合には 目標値%を記入)	<input type="text"/> % 残り文字数10
現状値% (2018.5.1現在)	<input type="text"/> % 残り文字数10

### 事務系職員の勤続年数の男女差

目標値 (設定している場合には 目標値%を記入)	<input type="text"/> 年以下 残り文字数10
現状値% (2018.5.1現在)	<input type="text"/> 年 残り文字数10

事務系職員の労働時間の状況（目標を記述してください）

	<div style="border: 1px solid #ccc; height: 60px; width: 100%;"></div>	残り文字数10000
--	--	------------

（４）-D「一般事業主行動計画」において数値目標を設定した項目について、目標達成のために2017年度に実施した具体的施策について当てはまるものを選択してください。※複数選択可

	<p><input type="checkbox"/> ポジティブ・アクション（積極的改善措置＝男女間の格差を改善するため必要な範囲内において、男女のいずれか一方に対し、当該機会を積極的に提供するための措置）を実施した。</p> <p><input type="checkbox"/> 部局等へのインセンティブ経費（女性教員採用促進経費等）を配分した。      <input type="checkbox"/> 女性限定公募をした。</p> <p><input type="checkbox"/> 公募の際、女性優遇であることを示した。      <input type="checkbox"/> 管理職になるための研修・セミナーを実施した。</p> <p><input type="checkbox"/> その他</p>	
上記で「その他」を選ばれた場合、代表的なものを1つだけご記入ください。	<div style="border: 1px solid #ccc; height: 40px; width: 100%;"></div>	残り文字数10000

（４）-E 今後の策定計画について当てはまるものを下記から1つだけ選んでください。

	<p><input type="radio"/> 常時雇用労働者300人以下のため、当面は策定を予定していない。</p> <p><input type="radio"/> 2020年までに策定・公表予定である。      <input type="radio"/> 策定を検討中であるが、公表時期は2021年度以降になる。</p> <p><input type="radio"/> 未定である。</p>
--	---

◀ 修正

📄 入力内容を  
パソコンに保存する

次へ▶

※「入力内容をパソコンに保存する」は、スマートフォン端末、タブレット端末ではご利用頂けません。

[このページの先頭へ](#) ▲

 **内閣府** | 〒100-8914 東京都千代田区永田町1-6-1  
電話番号 03-5253-2111（大代表）

内閣府法人番号 2000012010019

© Cabinet Office, Government of Japan

## 男女共同参画・ダイバーシティ推進の進捗状況に関する大学・研究機関向けアンケート

日本学術会議事務局

### 回答者へのメッセージ

2019年2月15日  
日本学術会議科学者委員会男女共同参画分科会

#### 「回答上の注意」

- ・送付資料中の「アンケート実施要項」をご参照いただき、2019年3月15日（金）までにご回答ください。
- ・設問が多いため、あらかじめ送付資料のアンケート書面で回答をご準備いただき、ご入力ください。
- ・本アンケートにおける用語は、以下を意味します。
- 教職員（教員・研究員・事務系職員とする。常勤・非常勤の別を問わない。任期付きか否かを問わない。）
- 教員（教授・准教授・専任講師・助教・特任助教・助手・非常勤講師などで教育・研究に従事している者とする。）
- 職員（常勤・非常勤を含む事務系職員とする。）
- 研究者（教員・研究員・オーバードクター・博士課程院生など研究に従事している者とする。）
- 若手（おおむね39歳以下の者とする。）
- 学生（学部生・大学院生・社会人大学院生とする。必要に応じて、研究生・科目等履修生等を含んでも良い。）
- ・入力に関するお問い合わせ先：  
日本学術会議事務局 三武（みたけ）  
電話：03-3403-1081

必要事項を記入後、[次へ]ボタンをクリックしてください。  
[修正]ボタンをクリックした場合、本ページで記入頂いた内容が消える場合があります。

- ▶ 文字化けを防ぐため、半角カタカナ、丸数字、特殊文字は使用しないでください。  
使用された場合、一部特殊文字は規則に従い、自動的に置き換えて受信を行います。  
あらかじめ御了承ください。（詳細は「[置き換え規則について](#)」を御覧ください。）

1. 内容入力

2. 確認

3. 完了

## 2 男女共同参画・ダイバーシティ推進の取組実態について【（5）～（8）】

### （5）【数値目標の設定】

貴大学・貴法人は、女性の参画の拡大に向けて、数値目標を設定していますか？  
1つでも数値目標を設定しているものがあれば、「はい」と回答してください。（2018年5月1日現在）

はい →（5）-Aへ  いいえ →（5）-Bへ

（5）-A それぞれの数値目標の数字を入力してください。設定していない場合は「0（ゼロ）」を入力してください。

経営役員（理事等）における女性比率	<input type="text"/>	% 残り文字数10
役員（副学長等）、部局長・部局執行部等、全学委員会委員長等 (注1) における女性比率	<input type="text"/>	% 残り文字数10
教員（大学）・研究員（法人） (注2)	<input type="text"/>	%→この項目が「0」の場合には（5）-Bへ 残り文字数10



における女性比率	
うち教授相当職以上 (注3) における女性比率	<input type="text"/> % 残り文字数10
事務系職員における女性比率	<input type="text"/> % 残り文字数10
うち課長相当職以上 (注4) における女性比率	<input type="text"/> % 残り文字数10

(注1)どれか1つでも役職について数値目標を設定しているものがあればそれについて回答してください。複数ある場合にはもっとも高い数値設定について回答してください。  
(注2)1部局でも数値目標を設定しているものがあればそれについて回答してください。複数ある場合にはもっとも高い数値設定について回答してください。  
(注3)「教授相当職」とは、「大学・高等等の教授、研究機関の部・室・グループ長等」を指します。  
(注4)「課長相当職」とは、「事務系課長、医療系看護部長、副看護部長、医療系技師長等」を指します。

(5) —B 教員・研究員の女性比率について数値目標を設定しない最大の理由を1つだけ選択してください。

	<input type="radio"/> すでに30%以上の女性比率を達成しているため、必要性がない。 <input type="radio"/> 数値目標を適用できる対象ポストが少なく、数値目標設定になじまない。 <input type="radio"/> 数値目標を設定できるほど女性候補者がいない。 <input type="radio"/> 男性候補者の反発が強いと予想される。 <input type="radio"/> 女性候補者の反発が強いと予想される。 <input type="radio"/> その他
上記で「その他」を選ばれた場合、 代表的なものを1つだけご記入ください。	<input type="text"/> <span style="float: right;">残り文字数10000</span>

## (6) 【女性研究者の採用】

貴大学・貴法人は、教員・研究員の採用時に女性に関する積極的改善措置（ポジティブ・アクション）を実施していますか？

(1部局でも実施していればそれに基づいて回答してください。)

<input type="radio"/> はい → (6) -Aへ <input type="radio"/> いいえ → (6) -Bへ
--

(6) -A 具体的施策について当てはまるものを選択してください。※複数選択可

	<input type="checkbox"/> 採用時に、業績や能力が同等と認められる場合には、積極的に女性を採用している。 <input type="checkbox"/> 特に女性比率が低い分野や部局について、女性限定採用または女性優先採用を実施している。 <input type="checkbox"/> 女性を採用する場合、配偶者の採用にも配慮したシステム（帯同制度など）を整備している。 <input type="checkbox"/> 本務を持たない女性非常勤講師・研究員を積極的に常勤教員・研究員として採用している。 <input type="checkbox"/> 女性を採用した部局等に対して、人件費ポイント制等におけるインセンティブを付与している。 <input type="checkbox"/> その他
上記で「その他」を選ばれた場合、 代表的なものを1つだけご記入ください。	<input type="text"/> <span style="float: right;">残り文字数10000</span>

(6) -B 下記から、「いいえ」の最大の理由を1つだけ選択してください。

	<input type="radio"/> すでに目標となる比率を達成しているため、ポジティブ・アクションの必要性がない。 <input type="radio"/> 実力主義を徹底するためには、ポジティブ・アクションは有益ではない。 <input type="radio"/> 男性教員・研究員の反発が予想される。 <input type="radio"/> ポジティブ・アクションを望まない女性教員が多い。 <input type="radio"/> その他
上記で「その他」を選ばれた場合、 代表的なものを1つだけご記入ください。	<input type="text"/> <span style="float: right;">残り文字数10000</span>

## (7) 【女性研究者の昇進】

貴大学・貴法人は、教員・研究員の昇進時に女性に関する積極的改善措置（ポジティブ・アクション）を実施していますか？

(1部局でも実施していればそれに基づいて回答してください。)

<input type="radio"/> はい → (7) -Aへ <input type="radio"/> いいえ → (7) -Bへ
--

(7) - A 具体的施策について当てはまるものを選択してください。※複数選択可

<p><input type="checkbox"/>昇進時に、業績や能力が同等と認められる場合には、積極的に女性を昇進させている。</p> <p><input type="checkbox"/>特に女性比率が低い分野や部局について、女性限定昇進を実施している。</p> <p><input type="checkbox"/>特に女性比率が低い分野や部局について、女性優先昇進を実施している。</p> <p><input type="checkbox"/>女性を昇進させた部局等に対して、人件費ポイント制等におけるインセンティブを付与している。</p> <p><input type="checkbox"/>教員・研究員の業績評価に当たって、育児休業・介護休業期間を勤務時間として換算するなどの配慮をしている。</p> <p><input type="checkbox"/>その他</p>	
<p>上記で「その他」を選ばれた場合、代表的なものを1つだけご記入ください。</p>	<div style="border: 1px solid #ccc; height: 40px; width: 100%;"></div> <p style="text-align: right;">残り文字数10000</p>

(7) - B 下記から、「いいえ」の最大の理由を1つだけ選択してください。

<p><input type="radio"/>すでに目標となる女性比率を達成しているので、ポジティブ・アクションの必要性がない。</p> <p><input type="radio"/>男女で昇進ペースに差がないので、ポジティブ・アクションの必要性がない。</p> <p><input type="radio"/>実力主義を徹底するためには、ポジティブ・アクションは有益ではない。</p> <p><input type="radio"/>男性教員・研究員のの反発が予想される。</p> <p><input type="radio"/>ポジティブ・アクションを望まない女性教員・研究員が多い。    <input type="radio"/> その他</p>	
<p>上記で「その他」を選ばれた場合、代表的なものを1つだけご記入ください。</p>	<div style="border: 1px solid #ccc; height: 40px; width: 100%;"></div> <p style="text-align: right;">残り文字数10000</p>

(8) 【事務系職員の採用・昇進】

貴大学・貴法人は、事務系職員の採用・昇進時に女性に関する積極的改善措置（ポジティブ・アクション）を実施していますか？  
(1部局でも実施していればそれに基づいて回答してください。)

<p><input type="radio"/>はい → (8) - Aへ    <input type="radio"/>いいえ→ (8) - Bへ</p>
---

(8) - A 具体的施策について当てはまるものを選択してください。※複数選択可

<p><input type="checkbox"/>採用時に、業績や能力が同等と認められる場合には、積極的に女性を採用している。</p> <p><input type="checkbox"/>昇進時に、業績や能力が同等と認められる場合には、積極的に女性を昇進させている。</p> <p><input type="checkbox"/>女性管理職を増やすために、数値目標を設定して取り組んでいる。</p> <p><input type="checkbox"/>女性を採用する場合、配偶者の採用にも配慮したシステム（帯同制度など）を整備している。</p> <p><input type="checkbox"/>女性非常勤職員を積極的に常勤職員として採用している。    <input type="checkbox"/> その他</p>	
<p>上記で「その他」を選ばれた場合、代表的なものを1つだけご記入ください。</p>	<div style="border: 1px solid #ccc; height: 40px; width: 100%;"></div> <p style="text-align: right;">残り文字数10000</p>

(8) - B 下記から、「いいえ」の最大の理由を1つだけ選択してください。

<p><input type="radio"/>すでに目標となる女性比率を達成しているので、ポジティブ・アクションの必要性がない。</p> <p><input type="radio"/>実力主義を徹底するためには、ポジティブ・アクションは有益ではない。</p> <p><input type="radio"/>男性職員の反発が予想される。    <input type="radio"/> ポジティブ・アクションを望まない女性職員が多い。    <input type="radio"/> その他</p>	
<p>上記で「その他」を選ばれた場合、代表的なものを1つだけご記入ください。</p>	<div style="border: 1px solid #ccc; height: 40px; width: 100%;"></div> <p style="text-align: right;">残り文字数10000</p>

< 修正

 入力内容を  
パソコンに保存する

次へ>

※「入力内容をパソコンに保存する」は、スマートフォン端末、タブレット端末ではご利用頂けません。

 **内閣府** | 〒100-8914 東京都千代田区永田町1-6-1  
電話番号 03-5253-2111 (大代表)

内閣府法人番号 2000012010019

© Cabinet Office, Government of Japan

## 男女共同参画・ダイバーシティ推進の進捗状況に関する大学・研究機関向けアンケート

日本学術会議事務局

### 回答者へのメッセージ

2019年2月15日  
日本学術会議科学者委員会男女共同参画分科会

#### 「回答上の注意」

- ・送付資料中の「アンケート実施要項」をご参照いただき、2019年3月15日（金）までにご回答ください。
- ・設問が多いため、あらかじめ送付資料のアンケート書面で回答をご準備いただき、ご入力ください。
- ・本アンケートにおける用語は、以下を意味します。
- 教職員（教員・研究員・事務系職員とする。常勤・非常勤の別を問わない。任期付きか否かを問わない。）
- 教員（教授・准教授・専任講師・助教・特任助教・助手・非常勤講師などで教育・研究に従事している者とする。）
- 職員（常勤・非常勤を含む事務系職員とする。）
- 研究者（教員・研究員・オーバードクター・博士課程院生など研究に従事している者とする。）
- 若手（おおむね39歳以下の者とする。）
- 学生（学部生・大学院生・社会人大学院生とする。必要に応じて、研究生・科目等履修生等を含んでも良い。）
- ・入力に関するお問い合わせ先：  
日本学術会議事務局 三武（みたけ）  
電話：03-3403-1081

必要事項を記入後、[次へ]ボタンをクリックしてください。  
[修正]ボタンをクリックした場合、本ページで記入頂いた内容が消える場合があります。

- ▶ 文字化けを防ぐため、半角カタカナ、丸数字、特殊文字は使用しないでください。  
使用された場合、一部特殊文字は規則に従い、自動的に置き換えて受信を行います。  
あらかじめ御了承ください。（詳細は「[置き換え規則について](#)」を御覧ください。）

1. 内容入力

2. 確認

3. 完了

### 3 若手研究者支援【(9)～(11)】

#### (9) 【研究支援】

貴大学・貴法人は、若手研究者（おおむね39歳以下の若手教員、研究員、オーバードクター、博士課程の院生等）の研究支援に取り組んでいますか？  
（1部局でも実施していればそれに基づいて回答してください。）

はい → (9) -Aへ  いいえ → (9) -Bへ

#### (9) -A 具体的施策について当てはまるものを選択してください。※複数選択可

- 若手研究者の科研費応募を支援している（若手向けの説明会の開催、シニア研究者による応募書類の作成指導等）。
- 若手研究者の研究成果公開を支援している（若手向けの論文投稿料補助、出版助成制度等）。
- 若手研究者を対象とした大学・法人独自の奨学制度をもっている。
- 任期が切れた若手研究者の研究費獲得を支援している（無給の研究員等として科研費番号を付与する等）。
- 若手研究者を対象とした（または優先した）研究費制度がある。
- 若手研究者へのメンター制度を設立している。
- 若手教員を対象とした（または優先した）サバティカル制度がある。

若手教員を対象とした教育・委員会等の負担軽減措置がある。 その他

上記で「その他」を選ばれた場合、  
代表的なものを1つだけご記入ください。

残り文字数10000

(9) -B 下記から、「いいえ」の最大の理由を1つだけ選択してください。

対象となる若手研究者がない。 若手研究者から支援のニーズがない。  
予算やポストの余裕がない。 その他

上記で「その他」を選ばれた場合、  
代表的なものを1つだけご記入ください。

残り文字数10000

### (10) 【雇用安定化】

貴大学・貴法人は、若手研究者の雇用増加及び雇用安定化に取り組んでいますか？  
(1部局でも実施していればそれに基づいて回答してください。)

はい → (10) -Aへ いいえ → (10) -Bへ

(10) -A 具体的施策について当てはまるものを選択してください。※複数選択可

より多くの若手研究者を採用するために、任期付きポストの増加に努めている。  
若手研究者を優先採用する任期無しポストの増加に努めている。  
若手研究者の非常勤講師を、常勤として採用するように努めている。 その他

上記で「その他」を選ばれた場合、  
代表的なものを1つだけご記入ください。

残り文字数10000

(10) -B 下記から、「いいえ」の最大の理由を1つだけ選択してください。

対象となる若手研究者がない。 若手研究者から雇用増加等のニーズがない。  
予算やポストの余裕がない。 その他

上記で「その他」を選ばれた場合、  
代表的なものを1つだけご記入ください。

残り文字数10000

### (11) 【若手女性研究者育成】

貴大学・貴法人は、次世代の女性研究者（若手女性研究者や女子学生、女子中高生など）を育成するために取り組んでいますか？  
女性研究者育成と結びつかない女子学生確保策しか取っていない場合には「いいえ」を選択してください。

はい → (11) -Aへ いいえ → (11) -Bへ

(11) -A 具体的施策について当てはまるものを選択してください。※複数選択可

研究や研究者の魅力を紹介する女子中高生対象のセミナー、フォーラム等を開催している。  
とくに理系の女性研究者を増やすために、女子中高生対象の理系研究室見学等を開催している。  
女子院生の研究職のキャリア・パスについてセミナーや相談会を開催している。  
女子院生の進路を確保するために企業と積極的に協力している。  
女性研究者による次世代女性研究者へのメンター制度を設立している。  
ロールモデルを提供するため、女性研究者と次世代女性研究者の交流会を開催している。 その他

上記で「その他」を選ばれた場合、  
代表的なものを1つだけご記入ください。

残り文字数10000

(11) -B 下記から、「いいえ」の最大の理由を1つだけ選択してください。

	<input type="radio"/> 研究よりも教育を重視しており、研究者育成環境を整備していない。 <input type="radio"/> 若手女性研究者の育成指導にあたるシニア女性研究者がいない。 <input type="radio"/> 若手女性研究者育成のための予算や人員の余裕がない。 <input type="radio"/> その他
上記で「その他」を選ばれた場合、 代表的なものを1つだけご記入ください。	<div style="border: 1px solid black; height: 40px; width: 100%;"></div> <div style="text-align: right; font-size: small;">残り文字数10000</div>

◀ 修正

↓ 入力内容を  
パソコンに保存する

次へ ▶

※「入力内容をパソコンに保存する」は、スマートフォン端末、タブレット端末ではご利用頂けません。

[このページの先頭へ](#) ▲



内閣府

〒100-8914 東京都千代田区永田町1-6-1  
電話番号 03-5253-2111 (大代表)

内閣府法人番号 2000012010019

© Cabinet Office, Government of Japan

## 男女共同参画・ダイバーシティ推進の進捗状況に関する大学・研究機関向けアンケート

日本学術会議事務局

### 回答者へのメッセージ

2019年2月15日  
日本学術会議科学者委員会男女共同参画分科会

#### 「回答上の注意」

- ・送付資料中の「アンケート実施要項」をご参照いただき、2019年3月15日（金）までにご回答ください。
- ・設問が多いため、あらかじめ送付資料のアンケート書面で回答をご準備いただき、ご入力ください。
- ・本アンケートにおける用語は、以下を意味します。
- 教職員（教員・研究員・事務系職員とする。常勤・非常勤の別を問わない。任期付きか否かを問わない。）
- 教員（教授・准教授・専任講師・助教・特任助教・助手・非常勤講師などで教育・研究に従事している者とする。）
- 職員（常勤・非常勤を含む事務系職員とする。）
- 研究者（教員・研究員・オーバードクター・博士課程院生など研究に従事している者とする。）
- 若手（おおむね39歳以下の者とする。）
- 学生（学部生・大学院生・社会人大学院生とする。必要に応じて、研究生・科目等履修生等を含んでも良い。）
- ・入力に関するお問い合わせ先：  
日本学術会議事務局 三武（みたけ）  
電話：03-3403-1081

必要事項を記入後、[次へ]ボタンをクリックしてください。  
[修正]ボタンをクリックした場合、本ページで記入頂いた内容が消える場合があります。

- ▶ 文字化けを防ぐため、半角カタカナ、丸数字、特殊文字は使用しないでください。  
使用された場合、一部特殊文字は規則に従い、自動的に置き換えて受信を行います。  
あらかじめ御了承ください。（詳細は「[置き換え規則について](#)」を御覧ください。）

1. 内容入力

2. 確認

3. 完了

## 4 SOGI対応（LGBT支援）【（12）～（13）】

### （12）【支援施策】

貴大学・貴法人は、性的指向や性自認（SOGI）に基づく差別の禁止やLGBT（性的マイノリティ）の支援に取り組んでいますか？

はい →（12）-A、（12）-Bへ  いいえ →（12）-Cへ

（12）-A 方針の公表方式として当てはまるものを選択してください。※複数選択可

- SOGIの尊重に関する宣言あるいはLGBT支援宣言等を大学・法人ホームページ等で公表している。
- SOGI差別禁止やSOGIハラスメント防止に特化したガイドラインを策定している。
- ハラスメント防止ガイドライン等にSOGIハラスメント禁止を明記している。
- 学生支援ガイドライン・要配慮学生対応マニュアル等にLGBT学生対応を明記している。  その他

上記で「その他」を選ばれた場合、  
代表的なものを1つだけご記入ください。

残り文字数10000

(12) -B 具体的施策について当てはまるものを選択してください。※複数選択可

<p>上記で「その他」を選ばれた場合、代表的なものを1つだけご記入ください。</p>	<p><input type="checkbox"/> LGBT当事者である専任教職員が在職していることを把握している。</p> <p><input type="checkbox"/> LGBT当事者である非常勤教員・非常勤職員が在職していることを把握している。</p> <p><input type="checkbox"/> 同性パートナーを異性パートナーと同様に処遇している。</p> <p><input type="checkbox"/> トランスジェンダーのトイレ・更衣室等の利用について配慮している。</p> <p><input type="checkbox"/> トランスジェンダーが望む性別での勤務・修学を認めている。</p> <p><input type="checkbox"/> LGBT当事者やその支援者（アライ）が活動・談話できるような専用スペースを提供している。</p> <p><input type="checkbox"/> SOGI/LGBT研究を助成している。 <input type="checkbox"/> SOGI/LGBT支援の冊子等を発行している。</p> <p><input type="checkbox"/> SOGI/LGBT関連図書を図書館や資料室で企画展示・一括配架して、利用者の便宜をはかっている。</p> <p><input type="checkbox"/> その他</p>
	<p>残り文字数10000</p>

(12) -C 下記から、「いいえ」の最大の理由を1つだけ選択してください。

<p>上記で「その他」を選ばれた場合、代表的なものを1つだけご記入ください。</p>	<p><input type="radio"/> 学内・法人内にLGBT当事者がいない、あるいは、存在がわからないため、取り組みの必要性を感じない。</p> <p><input type="radio"/> どのようなニーズがあるか把握しにくい、具体的な取組に至らない。</p> <p><input type="radio"/> 検討課題が多いため、支援方針を策定するまでには時間がかかる見込みである。</p> <p><input type="radio"/> 方針策定に向けて検討中であり、2020年度までには支援方針を策定する予定である。 <input type="radio"/> その他</p>
	<p>残り文字数10000</p>

(13) 【研修】

貴大学・貴法人は、2017～2018年度に、SOGI差別解消/LGBT支援に関する教職員研修や学生向け講演会・授業等を実施したことはありますか？

<p><input type="radio"/> はい → (13) -A、(13) -Bへ <input type="radio"/> いいえ → (13) -Cへ</p>
---

(13) -A 2017～2018年度に実施した研修・講演会・授業等を下記から選択してください。※複数選択可

<p>上記で「その他」を選ばれた場合、代表的なものを1つだけご記入ください。</p>	<p><input type="checkbox"/> 全教職員向けに研修会・講演会等を実施した。</p> <p><input type="checkbox"/> 一部の学部等で教職員向けの研修会・講演会等を実施した。</p> <p><input type="checkbox"/> 教職員・学生合同の研修会・講演会等を実施した。</p> <p><input type="checkbox"/> LGBT当事者を講師に招いて研修会・講演会等を実施した。 <input type="checkbox"/> 全学生向けの講演会等を実施した。</p> <p><input type="checkbox"/> 全学共通科目で関連授業を実施した（1コマ授業を含む）。</p> <p><input type="checkbox"/> 専門科目で関連授業を実施した（1コマ授業を含む）。 <input type="checkbox"/> SOGI/LGBTに関する独立した授業がある。</p> <p><input type="checkbox"/> その他</p>
--	---

(13) -B 2017～2018年度に学内（法人内）で実施したSOGI/LGBTに関する研修会・講演会・授業があれば、ご記入ください。

<p>実施した研修会・講演会*（ホームページで公表している場合にはURLもご記入ください） *明確にSOGI/LGBTをテーマにするものに限りです。</p>	<p>残り文字数10000</p>
<p>実施したSOGI/LGBT関連授業</p>	<p><input type="checkbox"/> (1) -Dで回答した女性学・ジェンダー研究関連授業に含めて実施した。</p> <p><input type="checkbox"/> 上記以外でSOGI/LGBT関連授業を実施した。</p>
<p>(1) -Dで回答した女性学・ジェンダー研究関連授業以外の科目について科目名（シラバスURL）をご記入ください。</p>	<p>残り文字数10000</p>

(13) -C 今後の予定について当てはまるものを選択してください。※複数選択可

<p>上記で「その他」を選ばれた場合、代表的なものを1つだけご記入ください。</p>
--



- 2020年度末までに教職員向け研修会を実施予定である。
- 2020年度末までに学生向け講演会・授業等を実施予定である。
- 教職員向け研修会・講演会の実施に向けて検討するが、実施時期は未定である。
- 学生向け講演会・授業の実施に向けて検討するが、実施時期は未定である。
- 教職員向け研修会・講演会の実施予定はない。       学生向け講演会・授業の実施予定はない。

< 修正

 入力内容を  
パソコンに保存する

次へ >

※「入力内容をパソコンに保存する」は、スマートフォン端末、タブレット端末ではご利用頂けません。

[このページの先頭へ](#) 



内閣府

〒100-8914 東京都千代田区永田町1-6-1  
電話番号 03-5253-2111 (大代表)

内閣府法人番号 2000012010019

© Cabinet Office, Government of Japan

## 男女共同参画・ダイバーシティ推進の進捗状況に関する大学・研究機関向けアンケート

日本学術会議事務局

### 回答者へのメッセージ

2019年2月15日  
日本学術会議科学者委員会男女共同参画分科会

#### 「回答上の注意」

- ・送付資料中の「アンケート実施要項」をご参照いただき、2019年3月15日（金）までにご回答ください。
- ・設問が多いため、あらかじめ送付資料のアンケート書面で回答をご準備いただき、ご入力ください。
- ・本アンケートにおける用語は、以下を意味します。
- 教職員（教員・研究員・事務系職員とする。常勤・非常勤の別を問わない。任期付きか否かを問わない。）
- 教員（教授・准教授・専任講師・助教・特任助教・助手・非常勤講師などで教育・研究に従事している者とする。）
- 職員（常勤・非常勤を含む事務系職員とする。）
- 研究者（教員・研究員・オーバードクター・博士課程院生など研究に従事している者とする。）
- 若手（おおむね39歳以下の者とする。）
- 学生（学部生・大学院生・社会人大学院生とする。必要に応じて、研究生・科目等履修生等を含んでも良い。）
- ・入力に関するお問い合わせ先：  
日本学術会議事務局 三武（みたけ）  
電話：03-3403-1081

必要事項を記入後、[次へ]ボタンをクリックしてください。  
[修正]ボタンをクリックした場合、本ページで記入頂いた内容が消える場合があります。

- ▶ 文字化けを防ぐため、半角カタカナ、丸数字、特殊文字は使用しないでください。  
使用された場合、一部特殊文字は規則に従い、自動的に置き換えて受信を行います。  
あらかじめ御了承ください。（詳細は「[置き換え規則について](#)」を御覧ください。）

1. 内容入力

2. 確認

3. 完了

## 5 就業環境の整備・充実と働き方改革【（14）～（16）】

### （14）【施策一般】

貴大学・貴法人は、「ディーセント・ワーク（働きがいのある人間らしい仕事）」や「ワーク・ライフ・バランス」を実現するためにどのような取組を行っていますか？

当てはまるものを選択してください（育児・介護については（15）以下で質問します）。※複数選択可

- ディーセント・ワークに関する啓発研修を実施している。
- ワーク・ライフ・バランスに関する啓発研修を実施している。
- 「育児は女性の役割」といった偏見・無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）を是正するための啓発研修を実施している。
- 多様な働き方を選択できる制度を導入している。
- 常勤教職員と非常勤教職員との間で同一価値労働同一賃金の原則を導入している。
- 過労死や過労自殺を防ぐために勤務間インターバル（勤務終了から次の勤務開始までに一定時間以上休むことを義務づける制度）を導入している。
- 残業時間を減らす取組をしている。
- 教職員に対して過重業務を負わせる管理職は「管理能力なし」とみなして処遇に反映させている。
- サバティカルを制度化している。  有給休暇を完全取得するよう推奨している。
- とくに取組をしていない。  その他

上記で「とくに取組をしていない」を選ばれた場合、最大の理由を1つだけご記入ください。		残り文字数10000
上記で「その他」を選ばれた場合、代表的なものを1つだけご記入ください。		残り文字数10000

**(15) 【育児】**

貴大学・貴法人は、育児と仕事の両立を支援するためにどのような取組を行っていますか？  
以下A～Cについてご回答ください。

**(15) -A 女性研究者に対して、研究と育児との両立を支援するための研究継続支援制度（制度利用は女性限定でなくとも可）を整備していますか？**当てはまるものを選択してください。※複数選択可

	<input type="checkbox"/> 育児サービス利用に要する費用の援助を行っている。 <input type="checkbox"/> 育児休業取得や労働時間短縮について、育児介護休業法が定める以上の条件を提供している。 <input type="checkbox"/> 子どもの看護のための休暇を時間単位で取得できるようにしている。 <input type="checkbox"/> 育児に携わる女性研究者に対する研究補助者の雇用経費を助成している。 <input type="checkbox"/> 育児休業をとった任期付き女性研究者の任期延長に配慮している。 <input type="checkbox"/> 業績評価に際してライフイベントを考慮している。 <input type="checkbox"/> 評価者に男性を優先する意識を持たないように意識啓発をしている。 <input type="checkbox"/> 育児と研究の両立者に対して一定期間、本業、研究以外の業務負担軽減をしている。 <input type="checkbox"/> 研究と育児を両立するロールモデルについて知る機会を提供している。 <input type="checkbox"/> 子どもがいても海外出張・国内出張にいけない工夫についてロールモデルを知る機会を提供している。 <input type="checkbox"/> とくに取組をしていない。	
上記で「とくに取組をしていない」を選ばれた場合、最大の理由を1つだけご記入ください。		残り文字数10000
上記で「その他」を選ばれた場合、代表的なものを1つだけご記入ください。		残り文字数10000

**(15) -B 男女教職員が育児休業を取得しやすくするための具体的施策について当てはまるものを選択してください。**※複数選択可

	<input type="checkbox"/> 育児休業取得についての理解を深めるために、とくに教授（教授相当職）や管理職に対する啓発研修を実施している。 <input type="checkbox"/> とくに教員が育児休業を取得したときには、必要に応じて代替教員（非常勤講師等）を配置している。 <input type="checkbox"/> 対象者がいる部局・部課では、育児休業を取得しやすいように業務内容・業務体制を見直している。 <input type="checkbox"/> 育児・介護休業法で定められた期間、回数以上に休めるようにしている。 <input type="checkbox"/> 男性の育児休業取得を促進するための措置を実施している。 <input type="checkbox"/> 教職員の育児休業を有給（保険金給付以外）で保障している。 <input type="checkbox"/> 教職員の育児休業中における待遇及び育児休業後の労働条件に関する事項について周知をはかっている。 <input type="checkbox"/> 育児休業中の教職員の職業能力の開発及び向上のための情報提供を行っている。 <input type="checkbox"/> とくに取組をしていない。 <input type="checkbox"/> その他	
上記で「とくに取組をしていない」を選ばれた場合、最大の理由を1つだけご記入ください。		残り文字数10000
上記で「その他」を選ばれた場合、代表的なものを1つだけご記入ください。		残り文字数10000

**(15) -C 男女教職員が育児休業等から復帰することを容易にすることを含めた環境整備をはかっていますか？**当てはまるものを選択してください。※複数選択可

	<input type="checkbox"/> 育児休業後に現職復帰を保障している。
--	---

<input type="checkbox"/> 近隣の保育施設と契約し、優先的に入園できるようにしている。 <input type="checkbox"/> 保育料補助制度がある。 <input type="checkbox"/> 講義や学内行事・学会等で利用できる保育一時サービスがある。 <input type="checkbox"/> 学内・法人内に託児室・授乳コーナー等を整備している。 <input type="checkbox"/> 育児休業等を取得しても中長期的に処遇上の差を取り戻すことが可能となるような昇進基準及び人事評価制度であることを明示している。 <input type="checkbox"/> とくに取組をしていない。 <input type="checkbox"/> その他	
上記で「とくに取組をしていない」を選ばれた場合、最大の理由を1つだけご記入ください。	<input type="text"/> <small>残り文字数10000</small>
上記で「その他」を選ばれた場合、代表的なものを1つだけご記入ください。	<input type="text"/> <small>残り文字数10000</small>

**(16) 【介護】**

貴大学・貴法人は、男女教職員の介護と研究・職務との両立を支援するための支援制度を整備・充実していますか？  
当てはまるものを選択してください。※複数選択可

<input type="checkbox"/> 介護休業を法定条件（3ヶ月・1回）よりも柔軟に取得可能としている。 <input type="checkbox"/> 介護休業を有給で保障している。 <input type="checkbox"/> 介護を理由とする短時間就労を認めている。 <input type="checkbox"/> とくに取組をしていない。 <input type="checkbox"/> その他	
上記で「とくに取組をしていない」を選ばれた場合、最大の理由を1つだけご記入ください。	<input type="text"/> <small>残り文字数10000</small>
上記で「その他」を選ばれた場合、代表的なものを1つだけご記入ください。	<input type="text"/> <small>残り文字数10000</small>

[< 修正](#)

[↓ 入力内容を  
パソコンに保存する](#)

[次へ>](#)

※「入力内容をパソコンに保存する」は、スマートフォン端末、タブレット端末ではご利用頂けません。

[このページの先頭へ](#) 



**内閣府**

〒100-8914 東京都千代田区永田町1-6-1  
電話番号 03-5253-2111 (大代表)

内閣府法人番号 2000012010019

© Cabinet Office, Government of Japan

## 男女共同参画・ダイバーシティ推進の進捗状況に関する大学・研究機関向けアンケート

日本学術会議事務局

### 回答者へのメッセージ

2019年2月15日  
日本学術会議科学者委員会男女共同参画分科会

#### 「回答上の注意」

- ・送付資料中の「アンケート実施要項」をご参照いただき、2019年3月15日（金）までにご回答ください。
- ・設問が多いため、あらかじめ送付資料のアンケート書面で回答をご準備いただき、ご入力ください。
- ・本アンケートにおける用語は、以下を意味します。
- 教職員（教員・研究員・事務系職員とする。常勤・非常勤の別を問わない。任期付きか否かを問わない。）
- 教員（教授・准教授・専任講師・助教・特任助教・助手・非常勤講師などで教育・研究に従事している者とする。）
- 職員（常勤・非常勤を含む事務系職員とする。）
- 研究者（教員・研究員・オーバードクター・博士課程院生など研究に従事している者とする。）
- 若手（おおむね39歳以下の者とする。）
- 学生（学部生・大学院生・社会人大学院生とする。必要に応じて、研究生・科目等履修生等を含んでも良い。）
- ・入力に関するお問い合わせ先：  
日本学術会議事務局 三武（みたけ）  
電話：03-3403-1081

必要事項を記入後、[次へ]ボタンをクリックしてください。  
[修正]ボタンをクリックした場合、本ページで記入頂いた内容が消える場合があります。

- ▶ 文字化けを防ぐため、半角カタカナ、丸数字、特殊文字は使用しないでください。  
使用された場合、一部特殊文字は規則に従い、自動的に置き換えて受信を行います。  
あらかじめ御了承ください。（詳細は「[置き換え規則について](#)」を御覧ください。）

1. 内容入力

2. 確認

3. 完了

## 6 ハラスメント対策【（17）～（19）】

### （17）【方針】

貴大学・貴法人は、ハラスメント防止に関する方針を明確化し、教職員や学生に周知していますか？

はい →（17）-A、（17）-Bへ  いいえ →（17）-Cへ

（17）-A ハラスメント防止方針の明確化について当てはまるものを選択してください。※複数選択可

- ハラスメント防止規程を策定・公表している。
- 相談手続や相談事例を盛り込んだハラスメント防止ガイドラインを策定・公表している。
- ハラスメント防止規程等にハラスメントの定義やその禁止について明記している。
- ハラスメント防止規程等にハラスメント相談や事実確認への協力等を理由とした不利益取扱の禁止について明記している。
- ハラスメント防止のための全学（法人全体）的な常設機関を設置している。
- 必要に応じて調査委員会等を設置する旨の規定を整備している。
- 就業規則等にハラスメント加害者に対する懲戒処分について明記している。  その他

上記で「その他」を選ばれた場合、  
代表的なものを1つだけご記入ください。

残り文字数10000

(17) -B ハラスメント防止方針の周知等について当てはまるものを選択してください。※複数選択可

- ハラスメント相談手続等をわかりやすく解説したリーフレット等を作成し、学生・教職員に配布・周知している。
- 教職員や学生の心得や必携等にハラスメントの禁止について記載している。
- 学内報等でハラスメントについて定期的に記事を掲載している。
- 全教職員を対象としたハラスメント防止研修会を定期的実施している。
- 全学生に対し、ガイダンスや授業等を通じてハラスメント防止や相談方法について教えている。
- チェックリストを作成し、教職員にハラスメントについての認識度を自己点検させている。
- WEBを活用（e-learningの導入等）して、ハラスメント相談・防止の理解に役立てている。  その他

上記で「その他」を選ばれた場合、  
代表的なものを1つだけご記入ください。

残り文字数10000

(17) -C 下記から、「いいえ」の最大の理由を一つだけ選択してください。

- ハラスメント事案が起こったことがない。
- プライバシー侵害を避けることを心がけている。
- その他

上記で「その他」を選ばれた場合、  
代表的なものを1つだけご記入ください。

残り文字数10000

(18) 【実態把握状況】

貴大学・貴法人のハラスメント防止対策責任者（総長・学長・法人長・担当役員・ハラスメント防止対策委員長など）は、ハラスメントについての実態や意見を把握していますか？

- はい → (18) -A、(18) -Bへ
- いいえ → (18) -Cへ

(18) -A 2017年度（2017年4月1日～2018年3月31日）に対応したハラスメント案件について伺います。

ア) 2017年度に新たに受理したハラスメント相談案件について、相談者の人数（相談者の性別ごと）を入力してください。

\* 1件に複数の相談者がいる場合には、相談者の数を累計してください。

学生

女性	<input type="text"/>	人 残り文字数10000
男性	<input type="text"/>	人 残り文字数10000

大学院生・オーバードクター

女性	<input type="text"/>	人 残り文字数10000
男性	<input type="text"/>	人 残り文字数10000

研究員

女性	<input type="text"/>	人 残り文字数10000
男性	<input type="text"/>	人 残り文字数10000

大学教員

女性	<input type="text"/>	人 残り文字数10000
男性	<input type="text"/>	人 残り文字数10000

法人所属研究員

女性	<input type="text"/>	人 残り文字数10000
男性	<input type="text"/>	人 残り文字数10000

事務系職員

女性	<input type="text"/>	人 残り文字数10000
男性	<input type="text"/>	人 残り文字数10000

その他

女性	<input type="text"/>	人 残り文字数10000
男性	<input type="text"/>	人 残り文字数10000

計

女性	<input type="text"/>	人 残り文字数10000
男性	<input type="text"/>	人 残り文字数10000

イ) 2017年度に最終処分が出たハラスメント相談の結果について、件数を入力してください。

懲戒処分の件数	<input type="text"/>	件 残り文字数10000
懲戒処分以外の処分（指導・通知など）の件数	<input type="text"/>	件 残り文字数10000
当事者の卒業・異動・退職等により処分未決定のまま終了した件数	<input type="text"/>	件 残り文字数10000

(18) -B 実態把握のための具体的施策について当てはまるものを選択してください。※複数選択可

<input type="checkbox"/> 教職員に対して、ハラスメントに関するアンケート調査を実施している。 <input type="checkbox"/> 学生に対して、ハラスメントに関するアンケート調査を実施している。 <input type="checkbox"/> 部局や学科・コース等で、対策のための意見を聞いている。 <input type="checkbox"/> イン트라ネットを活用して、実態や意見を把握している。 <input type="checkbox"/> 相談・苦情窓口において、実態や意見を把握している。 <input type="checkbox"/> 実態把握や対策を推進する部署を設置している。 <input type="checkbox"/> その他	
上記で「その他」を選ばれた場合、代表的なものを1つだけご記入ください。	<input type="text"/> 残り文字数10000

(18) -C 下記から、「いいえ」の最大の理由を一つだけ選択してください。

<input type="radio"/> ハラスメント相談がない。 <input type="radio"/> プライバシー侵害を避けるため、必要以上に把握しないほうがよい。 <input type="radio"/> その他	
上記で「その他」を選ばれた場合、代表的なものを1つだけご記入ください。	

残り文字数10000

**(19) 【相談への対応】**

貴大学・貴法人におけるハラスメント相談への対応について伺います。

**(19) -A 相談体制について当てはまるものを選択してください。※複数選択可**

- すべての学生・教職員が相談できる相談窓口・相談機関（相談室・相談員制度）を設置している。
- 独立した相談室（相談スペース）がある。
- 相談員が受けた相談の内容や状況に応じて、上位機関（ハラスメント防止対策委員会など）と連携を図る仕組みがある。
- 相談員は相談を受けた際の対応に関して研修を受けている。
- 相談員の相談手順はマニュアルに定めている。
- 定期的にハラスメント事例を検証し、防止対策として活用している。     上記のいずれも行っていない。
- その他

上記で「その他」を選ばれた場合、  
代表的なものを1つだけご記入ください。

残り文字数10000

**(19) -B 相談について当てはまるものを選択してください。※複数選択可**

- 不快な経験をした時にハラスメント相談をすることを推奨している。
- 第三者（ハラスメントの目撃者）がハラスメント相談担当者に連絡することを推奨している。
- ハラスメント被害にあうのは被害者の責任ではないことを周知している。
- 相談者・行為者等のプライバシー保護のための措置を定めている。
- ハラスメント相談者や事実確認への協力者が不利益を受けることがないようフォローアップなどの手立てを講じている。
- 上記のいずれも行っていない。     その他

上記で「その他」を選ばれた場合、  
代表的なものを1つだけご記入ください。

残り文字数10000

**(19) -C 調査について当てはまるものを選択してください。※複数選択可**

- 調査委員会の中立性を守るため、相談機関等から独立した組織として設置している。
- 調査にあたっては、必要に応じて第三者からの話も聴取する。
- 調査委員会に専門家（弁護士等）が参加している。     調査委員の研修を行っている。
- 調査期限を明示している。     上記のいずれも行っていない。     その他

上記で「その他」を選ばれた場合、  
代表的なものを1つだけご記入ください。

残り文字数10000

**(19) -D 解決方法について当てはまるものを選択してください。※複数選択可**

- 調査以外にも調整や通知など多様な解決方法が明示されており、相談者はそれを選ぶことができる。
- 当事者間の関係の改善について援助を行っている。
- 相談者と行為者を引き離すための配慮（接近禁止や所属変更等）をしている。
- 相談者が学業・勤務上被った不利益を調査・回復している。
- 相談者のメンタルヘルス不調への相談対応を行っている。
- 大学・法人が決定した解決方法や措置について当事者双方に説明している。
- ハラスメント行為者に研修を受けることを義務付けている。     上記のいずれも行っていない。
- その他

上記で「その他」を選ばれた場合、  
代表的なものを1つだけご記入ください。





残り文字数10000

◀ 修正

↓ 入力内容を  
パソコンに保存する

次へ▶

※「入力内容をパソコンに保存する」は、スマートフォン端末、タブレット端末ではご利用頂けません。

[このページの先頭へ](#) ▲



内閣府

〒100-8914 東京都千代田区永田町1-6-1  
電話番号 03-5253-2111 (大代表)

内閣府法人番号 2000012010019

© Cabinet Office, Government of Japan

## 男女共同参画・ダイバーシティ推進の進捗状況に関する大学・研究機関向けアンケート

日本学術会議事務局

### 回答者へのメッセージ

2019年2月15日  
日本学術会議科学者委員会男女共同参画分科会

#### 「回答上の注意」

- ・送付資料中の「アンケート実施要項」をご参照いただき、2019年3月15日（金）までにご回答ください。
- ・設問が多いため、あらかじめ送付資料のアンケート書面で回答をご準備いただき、ご入力ください。
- ・本アンケートにおける用語は、以下を意味します。
- 教職員（教員・研究員・事務系職員とする。常勤・非常勤の別を問わない。任期付きか否かを問わない。）
- 教員（教授・准教授・専任講師・助教・特任助教・助手・非常勤講師などで教育・研究に従事している者とする。）
- 職員（常勤・非常勤を含む事務系職員とする。）
- 研究者（教員・研究員・オーバードクター・博士課程院生など研究に従事している者とする。）
- 若手（おおむね39歳以下の者とする。）
- 学生（学部生・大学院生・社会人大学院生とする。必要に応じて、研究生・科目等履修生等を含んでも良い。）
- ・入力に関するお問い合わせ先：  
日本学術会議事務局 三武（みたけ）  
電話：03-3403-1081

必要事項を記入後、[次へ]ボタンをクリックしてください。  
[修正]ボタンをクリックした場合、本ページで記入頂いた内容が消える場合があります。

- ▶ 文字化けを防ぐため、半角カタカナ、丸数字、特殊文字は使用しないでください。  
使用された場合、一部特殊文字は規則に従い、自動的に置き換えて受信を行います。  
あらかじめ御了承ください。（詳細は「[置き換え規則について](#)」を御覧ください。）

1. 内容入力

2. 確認

3. 完了

### 7 医学部医学科・附属病院【(20)～(22)】

医学部医学科をもつ大学及び附属病院をもつ大学・法人におたずねします。

#### (20) 【男女共同参画】

貴大学の医学部医学科では、男女共同参画の取組を進めていますか？

はい → (20) -Aへ  いいえ → (20) -Bへ

#### (20) -A 具体的施策について当てはまるものを選択してください。※複数選択可

- 医学科の役職者（学部長・学科長・評議員など）の女性比率を高めるために努力している。
- 医学科の女性教員のうち、教授・准教授・講師を増やすためにポジティブ・アクションを導入している。
- 医学科の教育方針として男女共同参画の推進を明示している。
- 医学科のカリキュラムのなかに、男女共同参画関連科目（ジェンダー科目など）を設置している。
- 授業・研修を通じて、学生・教員が性差医療に関する知識を深めるよう支援している。
- 医学科の入試では、面接時に2名以上（延べ数ではなく、面接1回あたりの人数）の女性教員を参加させている。

授業・研修を通じて、女性医師の比率が低い専攻・分野・専門科について、女性比率を高めるための努力をしている。

女子医学生がロールモデルとなる女性医師と交流する機会を設けている。  その他

上記で「その他」を選ばれた場合、代表的なものを1つだけご記入ください。

残り文字数10000

(20) - B 「いいえ」の最大の理由を1つだけご記入ください。

残り文字数10000

**(21) 【女性医師支援】**

貴機関の附属病院では、女性医師が妊娠・出産・育児（乳幼児保育）を理由としてキャリアを中断しないよう支援する制度を導入していますか？  
女性医師が利用できる制度であれば、男女・職務を問わず全勤務者を対象とする制度であってもかまいません。

はい → (21) - A、(21) - Bへ  いいえ → (21) - Cへ

(21) - A 具体的施策について当てはまるものを選択してください。※複数選択可

全体として人員（医師）の増員をはかっている。

複数主治医制度の導入など主治医制の見直しをはかっている。  二交代制の勤務体制を導入している。

非常勤職についても勤務時間の短縮を認めている。  ジョブ・シェアリングを導入している。

育児休業時に代替医師を配置する。  育児を理由として宿直・日直を免除する。

育児を理由として時間外勤務を免除する。  短時間正規雇用制度を導入している。

フレックス制度を導入している。  希望に応じて働きやすい部門に配置転換する。

事業所内託児施設がある。  病児保育を実施している。  24時間保育を実施している。

保育施設やベビーシッターの斡旋を行っている。  保育費用を助成している。

育児休業中に在宅研修制度を導入している。  育児休業取得者に対して職場復帰支援を実施している。

育児休業取得を制限することや、育児休業取得者を非難することを厳しく禁じている。

相談窓口を設置している。  その他

上記で「その他」を選ばれた場合、代表的なものを1つだけご記入ください。

残り文字数10000

(21) - B 上記のうち、貴機関の附属病院で女性医師のキャリア継続のためにもっとも効果を発揮している施策を3つまで選択してください。

全体として人員（医師）の増員をはかっている。

複数主治医制度の導入など主治医制の見直しをはかっている。  二交代制の勤務体制を導入している。

非常勤職についても勤務時間の短縮を認めている。  ジョブ・シェアリングを導入している。

育児休業時に代替医師を配置する。  育児を理由として宿直・日直を免除する。

育児を理由として時間外勤務を免除する。  短時間正規雇用制度を導入している。

フレックス制度を導入している。  希望に応じて働きやすい部門に配置転換する。

事業所内託児施設がある。  病児保育を実施している。  24時間保育を実施している。

保育施設やベビーシッターの斡旋を行っている。  保育費用を助成している。

育児休業中に在宅研修制度を導入している。  育児休業取得者に対して職場復帰支援を実施している。

育児休業取得を制限することや、育児休業取得者を非難・中傷することを厳しく禁じている。

相談窓口を設置している。  その他

(21) - C 「いいえ」の最大の理由を1つだけご記入ください。

残り文字数10000

**(22) 【医師以外の女性医療職に対する支援】**

貴機関の附属病院では、医師以外の女性医療職が妊娠・出産・育児（乳幼児保育）を理由としてキャリアを中断しないよう支援する制度を導入していますか？  
利用できる制度であれば、男女・職務を問わず全勤務者を対象とする制度であってもかまいません。

はい → (22) - A、(22) - Bへ  いいえ → (22) - Cへ

(22) - A 具体的施策について当てはまるものを選択してください。※複数選択可

- 全体として人員の増員をはかっている。  二交代制の勤務体制を導入している。
- 非常勤職についても勤務時間の短縮を認めている。  ジョブ・シェアリングを導入している。
- 育児休業時に代替者を配置する。  育児を理由として宿直・日直を免除する。
- 育児を理由として時間外勤務を免除する。  短時間正規雇用制度を導入している。
- フレックス制度を導入している。  希望に応じて働きやすい部門に配置転換する。
- 事業所内託児施設がある。  病児保育を実施している。  24時間保育を実施している。
- 保育施設やベビーシッターの斡旋を行っている。  保育費用を助成している。
- 育児休業中に在宅研修制度を導入している。  育児休業取得者に対して職場復帰支援を実施している。
- 育児休業取得を制限することや、育児休業取得者を非難することを厳しく禁じている。
- 相談窓口を設置している。  その他

上記で「その他」を選ばれた場合、代表的なものを1つだけご記入ください。

残り文字数10000

(22) - B 上記のうち、貴機関の附属病院で女性医療職（医師以外）のキャリア継続のためにもっとも効果を発揮している施策を3つまで選択してください。

- 全体として人員の増員をはかっている。  二交代制の勤務体制を導入している。
- 非常勤職についても勤務時間の短縮を認めている。  ジョブ・シェアリングを導入している。
- 育児休業時に代替医師を配置する。  育児を理由として宿直・日直を免除する。
- 育児を理由として時間外勤務を免除する。  短時間正規雇用制度を導入している。
- フレックス制度を導入している。  希望に応じて働きやすい部門に配置転換する。
- 事業所内託児施設がある。  病児保育を実施している。  24時間保育を実施している。
- 保育施設やベビーシッターの斡旋を行っている。  保育費用を助成している。
- 育児休業中に在宅研修制度を導入している。  育児休業取得者に対して職場復帰支援を実施している。
- 育児休業取得を制限することや、育児休業取得者を非難・中傷することを厳しく禁じている。
- 相談窓口を設置している。  その他

(22) - C 「いいえ」の最大の理由を1つだけご記入ください。

残り文字数10000

< 修正

 入力内容を  
パソコンに保存する

次へ>

※「入力内容をパソコンに保存する」は、スマートフォン端末、タブレット端末ではご利用頂けません。

[このページの先頭へ](#) 



〒100-8914 東京都千代田区永田町1-6-1  
電話番号 03-5253-2111 (大代表)

内閣府法人番号 2000012010019

© Cabinet Office, Government of Japan

## 男女共同参画・ダイバーシティ推進の進捗状況に関する大学・研究機関向けアンケート

日本学術会議事務局

### 回答者へのメッセージ

2019年2月15日  
日本学術会議科学者委員会男女共同参画分科会

#### 「回答上の注意」

- ・送付資料中の「アンケート実施要項」をご参照いただき、2019年3月15日（金）までにご回答ください。
- ・設問が多いため、あらかじめ送付資料のアンケート書面で回答をご準備いただき、ご入力ください。
- ・本アンケートにおける用語は、以下を意味します。
- 教職員（教員・研究員・事務系職員とする。常勤・非常勤の別を問わない。任期付きか否かを問わない。）
- 教員（教授・准教授・専任講師・助教・特任助教・助手・非常勤講師などで教育・研究に従事している者とする。）
- 職員（常勤・非常勤を含む事務系職員とする。）
- 研究者（教員・研究員・オーバードクター・博士課程院生など研究に従事している者とする。）
- 若手（おおむね39歳以下の者とする。）
- 学生（学部生・大学院生・社会人大学院生とする。必要に応じて、研究生・科目等履修生等を含んでも良い。）
- ・入力に関するお問い合わせ先：  
日本学術会議事務局 三武（みたけ）  
電話：03-3403-1081

必要事項を記入後、[内容確認画面へ進む]ボタンをクリックしてください。  
[修正]ボタンをクリックした場合、本ページで記入頂いた内容が消える場合があります。

- ▶ 文字化けを防ぐため、半角カタカナ、丸数字、特殊文字は使用しないでください。  
使用された場合、一部特殊文字は規則に従い、自動的に置き換えて受信を行います。  
あらかじめ御了承ください。（詳細は「[置き換え規則について](#)」を御覧ください。）

1. 内容入力

2. 確認

3. 完了

### 8 事例紹介（任意記述）【（23）】

（23）貴大学・貴法人において男女共同参画あるいはダイバーシティ推進に関して特筆すべき取組を行っている場合には、事例をご紹介します。  
事例が複数ある場合には、適宜番号をつけてください。上記（1）～（22）の設問内容と重複してもかまいません。

（23）-A 事例紹介について、適宜、箇条書きで記入してください。取り組みの成果も明示してください。またホームページ等で公表している場合には、URLも記載してください。

残り文字数10000

(23) - B 上記(23) - Aでご紹介いただいた事例を学術会議シンポジウム・提言、全国ダイバーシティネットワーク組織ホームページ等で公表してもいいですか？

顕名で公表してもよい。    匿名で公表してもよい。    公表したくない。  
 公表する場合には事前に相談してほしい。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。  
第一部アンケートもどうぞよろしくご回答ください。

[< 修正](#)

[入力内容を  
パソコンに保存する](#)

[内容確認画面へ進む >](#)

※「入力内容をパソコンに保存する」は、スマートフォン端末、タブレット端末ではご利用頂けません。

[このページの先頭へ](#) 